



N.S.ニュース速報A

**NSDAP/AO : PO Box 6414
Lincoln NE 68506 USA
www.nsdapao.org**

#1083

16.12.2023 (134)

**ミヒャエル・キューネン (Michael
Kühnen**

政治的な兵役： SAの伝統と精神

第6部

新生サ

組織の歴史という点では、現在の国家社会主義者の信念の共同体は、BDNSからNSDAPの友を経て、HSKGからNSDAP/AOを経て、1977年に結成された新しいSAの中で最終的に一緒に流れています。もちろん、BDNSやフロインデスクライスからの派生よりも重要なのは、最初のSA-シュトルムが設立されたハンブルクにおいてのみ局所的な政治的意義を持つ、NSDAP/AOからの派生である：

1970年代末の国家社会主義運動の高揚におけるNSDAP/AOの重要性は、過大評価することはできない！新しいナチグループの絶え間ない浮き沈みの中で、最も安定した要因として自らを主張することができたのは偶然ではなく、その仲間から我々のゲゼルインシャフトが生まれ、それによって

1952年以来初めて、統一的、全国的、強力なナチ運動が出現し、存続することになった！1970年代、ゲルト・ラウクの指導の下、NSDAP/AOは、他のNSグループも実際に犯していた可能性のあるあらゆる誤りを回避し、今世紀末の自由のための国家社会主義の闘いのための現実的で有望なコンセプトを作り上げることに成功した。他の人々が歩んだこれらの誤った道とは何だったのでしょうか？

戦術的变化の試み：ますます多くのドイツの愛国者、特に若い世代が、国家社会主義に戻る道を見つけた。私たちは、FRGの治安当局が、新しい組織作りが始まる前の1986年に、すでに約3000人の国家社会主義者を認知していたことを見ました。残念ながら、オープンなナチグループが設立された後もこの状況はほとんど変わらず、数百人の活動家や支持者を獲得することができただけで、そのほとんどは断片化され、やっと十数人からせいぜい百人の同志になっただけだった。そのため、多くの国家社会主義者が他の民族集団に残り、今日に至っており、そこでカモフラージュしている。彼らは、静かに、秘密裏に活動することを望んでいる。また、単に国家社会主義の名前を変えて、ナチスの禁止と迫害から逃れようとする者もいる。これらもすべて、国家社会主義を存続させるが、何の進歩ももたらさず、非効果的なままであり、1960年代の不毛さを引き継いでいる。

指導者崇拜の解脱：1970年代の新ナチス運動の分裂と非効果の責任の大部分は、小さな「指導者」たちの野心と虚栄心の入り口にあった。彼らは皆、アドルフ・ヒトラーという巨人の姿に対して自分の印象の悪い姿を測り、同じ権威と無制限の個人指揮権を主張して、運動を指導したいと自ら主張したのである！さて、我々の運動における新しいリーダーへの切望は非常に大きいので、少なくとも、歴史的なNSDAPとそのリーダーと比較して、痛々しいほどの弱さと政治的無意味さのために、これらの「小さなリーダー」のそれぞれが、彼の周りに対応するカルトを燃やす少数の敬虔な信者を見つけた。それだけでなく、これらの「指導者」はしばしば、絶対的な指揮権を推進するだけでなく、思想としての国家社会主義を「解釈」する権利、あるいは「さらに発展」させる権利を自ら主張した！このようにして、まだかろうじて固まっていた新世代の若いNS運動の組織的な統一だけでなく、思想的な統一も危うくなり、不可能になってしまった。

武装抵抗の道：国家社会主義の絶え間ない迫害と弾圧を考えると、まさに、最も誠実で狂信的な若い活動家が、自白と弾圧の困難な道を離れ、武装抵抗を組織することによって、すぐに成功し効果を得ようと繰り返し誘惑されるのである。現実には--経験が示すように--そのような試みはすべて、逆にFRGの治安組織のために、数カ月後に失敗する：無意識のうちに、そのような同志は、支配体制の極悪非道で倒錯したゲームを演じている。国家社会主義宣伝活動の合法的で自由なあらゆる試みを抑圧するため、彼らを迫害することによって、体制は意図的に過激派を武装抵抗に追いやる。他方、正当な憤りから生じた必死の反応や武装抵抗の爆発は、その鎮圧後、再び扇動やナチ禁止特別法継続の口実に悪用されている！

NSDAPを再創設するための一時的な試み：分断を克服し、国家社会主義者の思想と政策の拘束力のある定義と、具体的で有望な政治活動を再び可能にするために、1970年代の同志たちは、NSDAPを再創設するという考えに繰り返し陥ったが、それ自体は正しいことだった。しかし、これは現在のNS運動の数的、組織的な弱さのために、定期的に失敗した。再創設は、慎重に準備され、思慮深く実行されなければならない。再創設の早まった試みは有害であり、風刺画であり、したがって総統の党に対する侮辱である！

NSDAP/AOは、こうした政治的な行き詰まりをすべて回避した：

それは、国家社会主義者がNPDや他の国家保守団体の中で行い、ファシスト戦線や人民社会主義運動の枠組みの中で行おうとしたように、自らをカモフラージュするのではなく、明らかに国家社会主義運動として組織したのである。

それは、特にローダー運動のように新しい「指導者」を宣言するものではなく、また、国家社会主義思想を変更、発展、あるいは改竄する権利を主張するものでもなかった。新しいフューラーに従う代わりに、国家社会主義者たちに、パルティの指導的任務を認識するよう教えたのである。ヨーロッパ解放戦線や、NSKKGのような武力抵抗は求めず、「プロパガンダ・アンダーグラウンド」という概念を展開したのである。

そして最後に、1970年、1976年、1979年に国家社会主義者のグループが何度も失敗したように、新しいNSDAPであると主張することはなく、NSDAPの対外的・構造的組織として新しい財団を準備し推進するという実践的組織的課題に満足した。このような仕事のやり方と、国家社会主義者の組織活動の可能性とチャンスに対する現実的な評価は、政治的自己満足とナチスのゲームに満足することを望まず、明確で説得力のあるコンセプトを求めていた国家社会主義者をNSDAP/AOに引き入れた。しかし、その急進性とNSDAPの歴史的スタイルへの忠誠心は、単に国家社会主義にブルジョア体制に対する最も鋭く無慈悲な戦争宣言を認めた、組織化されていない革命志向の若者の多くもAOに引き入れた。

こうして、1970年代の終わりには、NSDAP/AOは新しい運動の中で最も強いNSグループとなった。そして、それはまた、JNやWJからNSDAP/AOの隊列に入り込んだ、最も急進的で一貫した過激派を惹きつけるものであった。しかし、これらの過激派の多くは、NSDAP/AOの活動指針に従って、小さな細胞で自分たちを組織することに満足せず、互いに連絡を取ることを禁止し、夜間の違法な宣伝活動に限定した。この戦術は安全保障上の理由から正当化されたものではあったが、若い過激派の活動性や共同体意識には不十分であった。このことを最初に理解したのは、1976年、当時連邦領のNSDAP/AOのコーディネーターであった「アルミン」であった。彼は狂信的な国家社会主義者の家庭の出身で、父親はSAの指導者であり、彼自身はすでに戦闘期間中の6歳の時にHJで活動しており、そのためHJの黄金バッジの持ち主であったのである。そして、彼は、地下のあらゆる安全上の懸念にもかかわらず、NSDAP/AOの最も活発な戦闘員から、均一で緊密に組織された政治兵士の部隊を結成する要求、すなわちNSDAP/AOのSAを開発した。彼はすでに1976年からNSDAP/AOの全国的な宣伝攻勢を実施していたが、真の組織はまだ誕生していなかった。

1977年3月、ハノーファーで開催されたNPD全国党大会の折に、偶然にも運命的に実現した。前夜、JN中央集会が開かれ、夕暮れ時に松明行列が行われることになっていた。デモ隊が行進を始めたとき、突然、暗闇の中から「AO to the rear! 」という声が響いた。それまで孤独にNSDAP/AOへの忠誠を表明していた同志たちが、互いのことを知らずに後方に整列し、自分たちが全軍の3分の1以上を占めていることに突然気づいたのだ。小グ

グループで孤立を脱し、たった数人の同志で皆に対して一人で立っているという感覚を終わらせるという、魅力的な経験だった。その週末、この経験の印象の下、AOの戦略と戦術を説明してくれた「アルミン」との会話の後、私はNSDAPの友人からNSDAP/AOに参加し、ハンブルクでSAの嵐を作り上げるという任務を与えられました！

その数週間後の1977年5月8日、私は他の2人の同志とともに、戦後初のSA編成である「SAストーム・ハンブルク8月」を創設しました。

私たちのコミュニティの歴史にとって決定的なのは、私たちが地下に集まり、その結果、最初から違法な組織を作り上げたことでした。1977年11月、前進組織として国家社会主義者行動戦線（ANS）を設立することによってのみ、私たちは少なくとも部分的には非合法から脱することができたのである。SAの伝統にのっとり政治的兵士としての生活態度とともに、この地下での誕生が、数十年にわたってすべての民族グループを麻痺させてきた迫害や追放の恐怖を最初から取り除き、私たちの成功を確実なものにしたのである！

1983年12月に実際に追放されたとき、私たちは何も変わりませんでした。私たちはただ一緒にいて、新しい形の組織を作り始めたのです！

私たちのハンブルクSA嵐は、戦後初めてSAの精神へのコミットメントを明確に打ち出しました。それは、1977年6月に私たちの月刊地下雑誌『DER STURM - SA-Kampfblatt für Hamburg und Umgebung』の第1号に掲載された「政治兵士の十戒」に表現されています。同年、我々から独立したフランクフルトの「Kampfgruppe Großdeutschland」（KGD）もまた、この十戒を自分たちの拘束力として採用し、1983年1月、ANSと「National Activists」の合併とその後の全国的躍進を経て、ついにドイツ中のあらゆる場所で我々の思想集団全体に義務付けられることになった！

NSDAP/AOのSAはすぐに準備を整えた。ハンブルクの後、ハノーファー、ブルンスウィック、ノルトライン・ヴェストファーレン、そしてついにミュンヘンでもSA嵐が結成された。1977年12月、ヘッセの総統会議でSAのスタッフ指導部が結成され、「アーミン」がスタッフ長に就任

した。1978年4月、『フェルキッシャー・ベオバハター』の戦後最初の号が発行された-NSDAP/AO党指導部の主導的役割を認めて、SAスタッフ指導部が発行した。しかし、革命的実践においては、NSDAP/AO指導部が、帝国占領地での地下組織の強化や地下センターの形成に対して警告したこと
の正当性が明らかになることになるのである。

1977年9月には早くもハンブルクSAの嵐が発覚し、迫害と投獄によって損失が増大しながらも一貫して行われてきた地下活動は、1979年末にSA参謀「アルミン」の逮捕によって、ついに武装抵抗への流れにさえ対抗できず、刑務所での活動の破綻に破れ、自分にも他の人にも怒りを覚え、完全に孤立しはじめた。アルミン」というコードネームを持つSA参謀として、人間としては最終的に失敗したが、我々の自由への闘いのある一区切りにおいて、大きな意義と不滅の功績を得たその男の名前を、私が言及したくない理由である。

ハンブルクSAの嵐は、もちろん、NSDAP/AOのSAの崩壊に一部巻き込まれただけで、私の指導の下、地下活動に限定することはとくにやめており、1977年11月にANSが設立されて以来、合法的で公的な宣伝活動にますます集中していたからだ。

その後1983年1月までの厳しい年月の中で、SNEはすでに述べたようなあらゆる異変にも直面し、それらは我々の隊列に組織された国家社会主義者の誘惑として、我々の隊列内外でもたらされた。しかし、NSDAP/AOに由来する我々の部隊の起源とそのコンセプトへのコミットメントにより、SNEは損失や深刻な問題や危機にもかかわらず、生き残ることができました。しかし、公的な宣伝活動を志向するようになると、純粋な地下活動を志向するNSDAP/AOのコンセプトでは、もはや答えが出ないような多くの疑問や問題が発生した。この困難な時代に、我々の共同体は、SAの伝統と精神に基づく国家社会主義者による公共宣伝と組織活動の必要性と形態について、NSDAP/AOの概念をはるかに超えるが、それと矛盾するものではなく、有意義な方法で補完する明確な概念をついに形成した。わが軍のこの成熟過程の結果は、1983年3月のANS/NAの組織的秩序に定式化された：

「ANS/NAとは、SAの伝統を受け継ぐ新世代の国家社会主義運動の法的部門であり、NS禁止令の解除のために政治的に闘うものである。

1920年2月24日のNSDAPの25項目の綱領の核心と意味にコミットし、政治的目標の実行のための暴力を拒否し、既存の法律の枠内で活動するよう努力する。ANS/NAが解散するのは、NSDAPのドイツにおける合法的な政党としての再確立が再び可能になったときであり、そのときには幹部がNSDAPに利用できるようにするだろう！”

こうして新生SAは、組織的構想、スタイル、生活態度をようやく見出し、決意を持って仕事に臨むことができるようになった。1983年の躍進がそれを証明した。すでにその年の夏には、組織基盤が大きく広がり、「Aktion Ausländerückführung - Volksbewegung gegen Überfremdung und Umweltzerstörung」（AAR）という名前で選挙政党を設立することが可能になった。これによって、私たちのコミュニティは、基本的にすでにSAとしての限界を超え、国家社会主義的なPARTEIを構築するための次のステップを踏み出したのである（党とSAの違いと関係については、念のため本書の最初の2章を再度参照されたい）。年末には、36の同志社と9つの連邦州で、数百人の政治兵士がANS/NAの隊列に組織された。しかし、これが達成される前に、我々の共同体はまだ危険な危機を乗り越えなければならなかった--部隊の中に出現したSSの翼との対決である！

SSに対する私たちのコミュニティの態度については、多くの誤解があります：当初は、説明したように、SAの伝統と精神に肯定的なアプローチをとっただけで、これをSSの伝統と精神に対する宣戦布告と関連付けることはありませんでしたが、もともと政治的兵士の生活に対する態度をさらに強化しただけのものでした。1934年6月30日の悲劇に対するよく考えられた批判的な評価も、SAへのコミットメントによってもたらされたことは認めるが、すでに1978年秋の『Völkischer Beobachter』戦後2号で、NSDAP/AOを代表して、SAのスタッフ指導部は、エルンスト・レームの更生と偉大な国家社会主義革命家としての認識を公表した。しかし、これはSSに対する戦線を意味するものではなく、反動に対する拒絶を強化したに過ぎなかった。

私たちのSSに対する批判的な姿勢は、1983年の夏に始まったばかりである。当時ANS/NA組織指導部のメンバーであったアード・ハインツ・マルクスの周りにいた組織を傷つけるグループが、ますます厳しく振る舞い、SAの伝統と精神を否定し、逆に歴史的SSとますます同一化していったのを目撃しなければならなかった時、まさにSSとは違うのであった、それは、SSがSAと同じ理想と態度を体現している限りにおいて、まさにSSではなく、むしろSSの反党的伝統であり、思想の面では教条的退化、組織の面では独立、生活態度の面では傲慢で非同盟的に運動を支配しようとする主張に相当するものである。1983年秋、マルクスが私の命令に反して、フランクフルトとハナウの同志に「HIS PERSON」で誓わせたとき、忍び寄る危機はクライマックスに達した。

運動のNo.3が、組織指導部の他の2人のメンバーを無視して、この人物に忠誠を誓ったことは、組織内で耐えられなかっただけでなく、思想的にも耐えられなかった。指導者の死後、誰も自分の人物を党と同一視し、党ではなく人物への従属を要求する権利はないのだから。この挑発的な主張は、SAの伝統に則って我々が要求するように、共同体の中で、共同体のために指導的同志として働き、戦う代わりに、運動を恣意的に支配しようとするものであり、我々の自己像と組織に対するこの攻撃を、歴史的SSを振り返ることで正当化し、それはすぐに6月30日を示唆する部分と脅迫する部分とで続いていたので、我々はマルクス周辺のグループを排除するだけでなく、第6章で述べた方法で歴史的SSに対する我々の態度を公に明らかにすることになりました。

マルクスが、運動とその分裂の努力に対する闘いを止めず、我々の共同体の指導的同志に対する個人的暗殺の試みと陰謀によって、それをさらに強化したとき、我々は、彼と彼の支持者を追放し、彼らを党の害虫と宣言せざるを得なかった。これと関連して、党にとって有害であり、客観的に反動に奉仕する傾向に反対して、6月30日を「反動との闘いの日」と宣言し、1984年以来毎年祝われてきたのである。たとえ今日、マルクスが完全に無関係の深淵に沈んだとしても、彼が体現し、我々の運動を粉砕しようとしたこれらの傾向に対する警戒は、依然として必要である。このことは、彼が党に損害を与える工作の中で

言及した歴史的親衛隊に対するわれわれの批判的態度を説明するものであるが、それゆえ、親衛隊に関連するすべてを全面的に非難したり、親衛隊の同志、とりわけヴァッフェン親衛隊の同志が成し遂げた偉大で例示的なすべての事柄に対して盲目になることはなく、それはわれわれの伝統に対する理解の中に確実に含まれている！

1983年秋にマルクスが仲間から追放されたことで、危機はほぼ解消され、指導者と信者の基本的な同志的態度が回復されました。

1983年の終わりには、1952年以来初めて、全国的に統一された国家社会主義運動が再び機能していたことを誇らしげに述べることができた。当時、これにはすでに、国家活動家とANSの幹部との同志関係に象徴される新しいSAだけでなく、元SRP活動家の騎士十字章保持者オットー・リースの指導の下、高齢者の支持者を組織する「ドイツ政治友の会」、企業細胞組織、女子会も含まれていた。組織的には独立していたが、政治的には私の副官トーマス・ブレールの指導のもとに、選挙党AARもあった。SAはすでに、政治的兵士が数的にも政治的にも明らかに優勢であったとはいえ、小規模ながら活動的な真の民衆運動となっていた。したがって、1983年の終わりに、来年は、ANS/NAが、その幹部を統合し訓練するために、より後方に位置し、政治的には、AARと、今や実質的に卓越した国民社会主義運動となった我々の運動の支部の拡大に重点を置くべきだという決定がなされた！

しかし、1983年12月7日、ANS/NAとその下部組織、そしてAARは、ボン・システムによって禁止された。こうして、新生SA（国家社会主義者の行動戦線）の歴史は、それまでの形で終わりを告げ、闘いは新しい戦線に移行した！



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFF DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 26. April 2017 02.06

Der Kampf geht weiter !

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da in ganz in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenstab, Vorhut, Verfügung und Volkshilfen haben nicht nur erreicht, das Land der gesunden Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu erobern.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Völkler- und Rassenmenschen als früher. Sie sind im Kampf um die Erlangung unserer Freiheit.

Die Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Gefahr des kollektiven Völkermord ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmste Aufgabe ist es, Adolf, den Völkermord - gegen alle wissen Völkler (V) - zu begeben. Seine Mord und Ermordung, Überführung und Rassenreinigung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenstab, ob im Propagandastab, bewacht oder auf einem Schlachtfeld, andere Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!
Gottard Lauth




N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦場は、まさに情報の埋蔵庫です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**

Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitl Hitler!
Gottard Lauth



NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!